

団体名 よどがわおやこ劇場

事業名 子と親の広場

事業概要

- 乳幼児、小学生の親子に向けて、工作会や英語、また節分やクリスマス会など季節に応じたイベントを開催。
- 親を対象に講演会や語ろう会などを実施。

解決すべき地域の課題

- 親子共々他者との関わりやふれ合う機会、体験の機会の提供。
- 人との距離感や信頼関係の構築。

活動状況

- 当団体は、全体で12あるサークルを北と南の2ブロックに分けて活動している。
- 主な活動としては鑑賞活動と自主活動で、鑑賞活動は年に4回（8作品程度）プロのアーティストによる人形劇や舞台劇、コンサート等の舞台公演を企画し鑑賞している。自主活動は全体でのおやこまつりやハロウィンをはじめ、各ブロックやサークル毎の取り組みが行われている。会員主体の活動が生まれる背景には、やはり当拠点が存在することで集いやすくなっていることが考えられる。
- 自主活動では「子ども主体の取り組みを！」を大切にしている『おやこまつり』では、子どもたちが考え作り上げる手作りゲームのお店屋さんごっこを中心に、大人が作るコーナーを含め13ほどのブースがお借りした木川第4住宅集会所に並び、外では青年たちが段ボール迷路を早朝から準備してくれました。
- 「子と親の広場」では、親を対象に乳幼児や学童期の発達に関する学び合いの場として『お母さんの勉強室』を開催している。
- 親子を対象に絵本の読み聞かせやパネルシアター、工作会など実施している。特に春休みと夏休みなどは参加人数が多く有り集会所を借りることもある。
- 0～3才対象のぴよぴよクラブを月2回、不定期の木曜日に無料で実施。手作りおもちゃを作ったりベビーボールなどをしている。中でも手形足型アートは毎年好評です。何かを作りながら、子育てのことなど色々な話が出る良い機会になっている。
- 毎月機関紙を作成し、当団体の活動を周知している。

【活動の様子】



活動に参加している利用者の状況（市営住宅の住民および近隣住民）

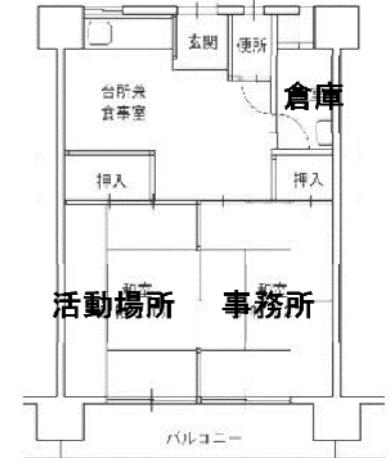
- ぴよぴよクラブには、主に地域に居住する乳幼児と母親が参加している。

住戸の活用状況

- 間取りは2DKで、各部屋を活動場所、事務所として活用している。
- 利用者に分かりやすいよう、活動中は玄関扉にプレートを貼りだしている。また、ベランダ側にも表示をしている。
- 利用者が多いときは、ふすまを外して2つの部屋を続きで利用できるようにしている。



【玄関扉及び室内の活用状況】



※間取りは左右反転

「市営住宅のコミュニティ活性化事業」の利用による変化

- 市営住宅ということで認知度が高く利用しやすく、人が集まりやすくなった。また、ブロックやサークルの集まりが複数になっても2部屋に分かれて集まることが出来ている。
- 市営住宅に入居して良かった点は家賃が安いこと、使い勝手が良いので活動がしやすくなった。
- 各地域の小学校や中学校に在校または卒業生の親たちは、それぞれの関りで地域や学校での取り組みに協力している。

活動団地の場所

【団地名】木川第4住宅 1号館 113号室

【所在地】淀川区木川西4丁目4番

